

令和 8 年度 病院経営方針

ピーター・F・ドラッカーは「すでに起こった未来」において、統計や構造変化から将来を予測し、先手を打つべきだという考え方を提唱していますが、少子高齢化による超人口減少社会の到来はまさにそれに該当し、医療需要は量から質へ、急性期中心から慢性期・在宅・予防へと大きな転換期を迎え、各医療機関は存続をかけ、その岐路に立たされています。生産年齢人口の減少により医療従事者の確保も一層困難となり、医療 DX、AI、ICT の活用やタスクシフト等による効率化と持続可能性の確保が、今後より一層不可欠となります。そして、限られた資源の中で、最適な医療提供体制を再構築する備えが求められることとなります。

以上の点を踏まえ、令和 8 年度経営方針については、令和 7 年度の基本方針（以下の 6 項目）を踏襲しつつも、来たるべき少子高齢化に伴う超人口減少時代に備え、10 年先、20 年先を見据えた持続可能な医療提供体制の再構築と市民病院としての役割について、和歌山県、橋本市、医師会、その他関係機関と意見を交わしながら、その準備を進めることとします。

- (1) 地域の中核病院として、地域で必要とされる高度急性期、急性期及び包括期医療を担い質の高い医療を提供する
- (2) 地域医療機関と機能分担を促進し、連携強化に向けた体制を構築し、地域完結型医療提供に取り組む
- (3) 自治体病院として救急医療、政策医療・不採算医療、災害医療、小児医療、周産期医療、新興感染症対策に取り組む
- (4) 臨床研究、教育を通じ地域医療水準の向上に取り組む
- (5) 良質な医療提供体制の継続的実現にむけた健全な病院経営に取り組む
- (6) 地域医療提供の為に人材の確保・育成、働き方改革の実現にむけて取り組む

病 院 事 業 会 計 予 算

令和8年度 橋本市病院事業会計予算

(総則)

第1条 令和8年度橋本市病院事業会計予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(病院)

(1) 病 床 数		300 床
(2) 年 間 患 者 数		
入 院		85,775 人
外 来		125,320 人
(3) 1 日 平 均 患 者 数		
入 院		235.0 人
外 来		520.0 人
(4) 主要な建設改良事業		
(イ) 医療機器等整備事業	事業費	70,000 千円
(ロ) 建物附属設備整備事業	事業費	39,600 千円

(訪問看護)

(1) 訪 問 看 護 事 業		
(イ) 月間利用者数		107.0 人
(ロ) 月間利用回数		667 回
(2) 居 宅 介 護 支 援 事 業		
(イ) 月間居宅サービス計画作成者数		36.7 人

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款	病院事業収益	8,758,521 千円
第1項	医業収益	7,732,446 千円
第2項	医業外収益	831,894 千円
第3項	訪問看護収益	77,359 千円
第4項	特別利益	116,822 千円

支 出		
第1款	病院事業費用	8,628,876 千円
第1項	医業費用	8,382,918 千円
第2項	医業外費用	150,523 千円
第3項	訪問看護費用	90,106 千円
第4項	特別損失	4,329 千円
第5項	予備費	1,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額569,201千円は、過年度分損益勘定留保資金569,201千円で補てんするものとする。)

収 入		
第1款	資本的収入	458,309 千円
第1項	他会計負担金	348,259 千円
第2項	企業債	109,600 千円
第3項	投資	450 千円

支 出		
第1款	資本的支出	1,027,510 千円
第1項	建設改良費	109,930 千円
第2項	投資	7,155 千円
第3項	企業債償還金	910,425 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事項	期間	限度額
ロボット支援手術システム賃借料	令和9年度から令和11年度まで	136,844千円
物流管理業務委託	令和9年度から令和12年度まで	147,840千円
医事関係業務委託	令和9年度から令和12年度まで	918,720千円
ポジショニングピロー賃借料	令和9年度から令和13年度まで	1,604千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法
病院事業	109,600千円	証書借入

利率	償還の方法
5%以内	借入先の融通条件による

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、2,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 第1款病院事業費用のうち、第1項医業費用、第2項医業外費用、第3項訪問看護費用、第4項特別損失に係る項間の流用。
- (2) 第1款資本的支出のうち、第1項建設改良費、第2項投資、第3項企業債償還金に係る項間の流用。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1)	職員給与費	4,643,421	千円
(2)	交際費	2,030	千円

(他会計からの補助金)

第10条 病院事業運営のため一般会計及び国民健康保険特別会計からこの会計へ補助を受ける金額は173,931千円である。

(たな卸資産の購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、825,615千円と定める。

令和8年2月16日 提出

橋本市長 平木 哲朗

令和7年度下半期橋本市病院事業経理の状況

(1) 予算執行現計表 (10月1日から3月31日)

(単位：円)

科 目	既執行済額	下半期執行額	決算額
(1) 病院事業収益	4,198,845,635	3,977,547,924	8,176,393,559
1. 医業収益	3,394,016,191	3,542,810,890	6,936,827,081
1. 入院収益	2,323,476,598	2,348,781,663	4,672,258,261
2. 外来収益	872,841,023	901,604,573	1,774,445,596
3. その他医業収益	89,250,570	139,650,146	228,900,716
4. 他会計負担金	108,448,000	37,974,000	146,422,000
5. 介護保険収益	0	756,176	756,176
6. 他会計補助金	0	9,900,882	9,900,882
7. 国(県)補助金	0	104,143,450	104,143,450
2. 医業外収益	564,283,973	273,473,151	837,757,124
1. 受取利息	817,472	771,023	1,588,495
2. 国(県)補助金	0	6,608,000	6,608,000
3. その他医業外収益	43,161,522	40,828,887	83,990,409
4. 他会計負担金	137,383,000	118,660,000	256,043,000
5. 他会計補助金	70,000,000	98,137,000	168,137,000
6. 消費税還付金	0	0	0
7. 長期前受金戻入	135,127,979	8,468,241	143,596,220
8. 資本費繰入収益	177,794,000	0	177,794,000
3. 訪問看護収益	42,028,734	35,486,024	77,514,758
1. 医療保険サービス収入	18,692,260	13,056,225	31,748,485
2. 介護保険サービス収入	17,624,723	17,102,520	34,727,243
3. 受取利息	62,351	64,474	126,825
4. 雑収益	5,633,641	5,066,786	10,700,427
5. 国(県)補助金(訪問看護収益)	0	180,000	180,000
6. 長期前受金戻入	15,759	16,019	31,778
4. 特別利益	198,516,737	125,777,859	324,294,596
1. 過年度損益修正益	0	0	0
2. その他特別利益	198,516,737	125,766,860	324,283,597
3. 固定資産売却益	0	10,999	10,999

科 目	既執行済額	下半期執行額	決算額
(1) 病院事業費用	3,918,336,722	4,822,997,118	8,741,333,840
1. 医業費用	3,836,324,141	4,597,332,834	8,433,656,975
1. 給与費	1,966,921,719	2,678,454,113	4,645,375,832
2. 材料費	818,519,498	811,502,255	1,630,021,753
3. 経費	806,242,238	857,043,220	1,663,285,458
4. 減価償却費	233,445,708	236,741,108	470,186,816
5. 資産減耗費	875,443	9,355,450	10,230,893
6. 研究研修費	10,319,535	4,236,688	14,556,223
2. 医業外費用	47,374,959	161,002,726	208,377,685
1. 支払利息等	47,052,969	48,923,200	95,976,169
2. 雑損失	57,990	95,471,926	95,529,916
3. 消費税	0	16,079,600	16,079,600
4. 諸会費	0	0	0
5. 研修指導費	264,000	528,000	792,000

科 目	既執行済額	下半期執行額	決算額
3. 訪問看護費用	34,482,652	38,425,348	72,908,000
1. 給与費	30,885,783	33,805,342	64,691,125
2. 材料費	54,745	81,710	136,455
3. 経費	2,994,246	2,985,600	5,979,846
4. 減価償却費	547,878	547,872	1,095,750
5. 研究研修費	0	0	0
6. 雑損失	0	119,524	119,524
7. 消費税	0	885,300	885,300
4. 特別損失	154,970	26,236,210	26,391,180
1. 過年度損益修正損	154,970	469,350	624,320
2. その他特別損失	0	25,766,860	25,766,860
3. 貸倒損失	0	0	0
5. 予備費	0	0	0
1. 予備費	0	0	0

科 目	既執行済額	下半期執行額	決算額
(1) 資本的収入	344,975,800	225,543,550	570,519,350
1. 他会計負担金	341,921,000	0	341,921,000
1. 他会計負担金	341,921,000	0	341,921,000
2. 企業債	0	205,900,000	205,900,000
1. 企業債	0	205,900,000	205,900,000
3. 投資	3,054,800	0	3,054,800
1. 敷金戻収入	54,800	0	54,800
2. 看護師奨学金戻収入	3,000,000	0	3,000,000
3. 専門認定看護師修学資金戻収入	0	0	0
4. 補助金	0	19,643,550	19,643,550
1. 国・県補助金	0	19,643,550	19,643,550
5. 固定資産売却代金	0	0	0
1. 固定資産売却代金	0	0	0

科 目	既執行済額	下半期執行額	決算額
(1) 資本的支出	486,160,110	628,340,675	1,114,500,785
1. 建設改良費	42,565,391	184,739,104	227,304,495
1. 資産購入費	42,565,391	169,009,104	211,574,495
2. 工事請負費	0	15,730,000	15,730,000
3. リース債務支払	0	0	0
2. 投資	4,300,000	1,935,800	6,235,800
1. その他投資	4,300,000	1,935,800	6,235,800
3. 企業債償還金	439,294,719	441,665,771	880,960,490
1. 企業債償還金	439,294,719	441,665,771	880,960,490